神戸大学ニュースネット
NEWS NET
4月号
©神戸大学ニュースネット委員会 http://www.std.kobe-u.ac.jp/newsnet/
関西学生報道連盟共同編集室＝〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-21-9-502
電話 06-6307-1315　FAX 06-6307-1316　メール newsnet@std.kobe-u.ac.jp
携帯ＨＰ

今月の主な内容

１面：大日岳遭難事故
５面：新入部員募集
８面：いざ1部に挑む　ソフト部15年ぶりの舞台へ

営業時間 (17:30−23:00)
東姫原市場内E.T.が目印！
Since 1996 串まと創作家庭料理 あらたや
TEL:078-861-3232
灘区篠原南町7-2-2

大日岳遭難事故から10年
「息子たちの命を無駄にしないで」
手記出版

国主催の山岳研修中に、神戸大ワンダーフォーゲル部に所属していた溝上国秀さん（当時＝文・2年）と、都立大の内藤三恭司さん（当時＝理・2年）が亡くなった大日岳遭難事故から、3月5日で10年が経った。溝上さんらの両親はその日、手記「息子たちの命を無駄にしないで」を出版。国を相手取った裁判の様子や息子に対する思いがつづられている。溝上さんの母、洋子さんは「今まで（事故に）関心がなかった人たちにもこの本を通じて、大日岳って何があったんやろうと見てもらえることで、本当に風化させないことをできるのじゃないか、と思う」と手記に込めた思いを話した。

事故が起こったのは2000年3月5日。文部省登山研究所（当時）が主催した富山県の立山連峰・大日岳での研修中、ひさし状に張り出した雪の上で休憩していた学生11人が雪崩に遭い、転落。その年の7月11日、溝上さんと内藤さんの遺体が発見された。

2年後、遺族らは国を提訴。謝罪を求める署名運動などの活動を行ない、2007年9月15日に和解が成立した。今回、手記を出版することになった理由も、裁判の様子を描くことによって事故がどのようなものであったかを知ってもらうためだという。「裁判の中でたくさんの方の支援をいただいたので記録を残したかったのと、裁判の中で明らかになった点、認められた点を自分たちの手で明らかにしていきたかった」（洋子さん）。

10年が経った今年、国立登山研修所は冬の山岳研修を再開。再開にあたり、遺族らには昨年末から、研修計画についての報告のため、何度も連絡が来ていたという。「研修所の方は努力されている。頑張ってもらいたいな」。【新田理絵】

受験生に春来たる　前期入試合格発表
1952の笑顔花咲く

神戸大の前期入学試験の合格者発表が3月9日、各キャンパスで行われた。11学部1952人の受験生が合格。発表会場では、アメフト部らから胴上げの祝福を受ける受験生の姿も見られた。23日には、後期の合格者が発表され、593人が合格した。

春の訪れに逆行するかのような寒空の下、合格者の受験番号が書かれた掲示が貼り出された。六甲台を歓声と笑顔が包み込んだ。 経済学部に合格した女子高生は「自信が全然なかったので信じられない。大学に入ったら、サークルやバイトでてんこもりにしたい」と満面の笑みで話した。

さらば国維寮
101年の歴史に幕

神戸大の男子寮、国維寮が3月31日をもって閉寮した。1908年に開寮され、多くの神戸大生の生活を見守ってきたが、耐震基準を満たさないことがわかり昨年12月、101年の歴史に幕を下ろすことが決まっていた。3月16日現在で寮に住む75人の学生のうち、3月31日以降の入寮許可証を持っている十数人に関しては、ほとんどが次の転居先が決まっているという。

国維寮はもともと、旧制神戸高等商業学校寄宿舎として、現在の神戸市立葺合高等学校付近にあった。1945年の神戸大空襲で死者が出るなどの被害を受けたために移転を繰り返し、戦後になって現在の場所に落ち着いた。

寮長だった新谷晃三さん（経済・4年）は「長い歴史のある寮なので残念。また復活してほしい」と悟しんだ。【浅井淳平】

3月31日付けで閉寮した国維寮（3月16日・神戸大国維寮で　撮影＝浅井淳平）

野宿者自演騒動
学生と大学が会談
再発防止へ一定の取組

神戸大は19日、有志の学生らによる神戸大学「『ホームレス』と出会う子どもたち」上映会実行委員会（上映委）と会談した。大学側は上映委から2月に提出されていた、野宿者問題に関する申し入れ文に口頭で回答した。大学側の出席者は田中康秀・教育担当理事、石田康史・学生生活担当理事ら4人。学生側は6人が出席した。

上映委側への取材によると、大学は来年度新入生ガイダンスで、野宿者問題を含む人権問題を学ぶ場を設けること、「神戸大学ボランティア講座」の支援、広報の強化などを約束した。しかし対応は、申し入れ文が求めた全学をあげた取り組みには及ばず。委員長の江口怜さん（発達・4年）は一定の評価はしたうえで「納得できない部分もある」と不満もあらわした。

上映委は、昨年10月末の神戸大生の野宿者襲撃「自作自演」動画騒動後に有志の学生らが集まり、今年1月初めに組織された。同月末に啓発DVD「『ホームレス』と出会う子どもたち」の上映会を実施。2月1日には学生27人の賛同を集め、大学に申し入れ文を提出していた。【坂上正人】

伏流水

「日本を今一度洗濯いたし申し候」。旧体制のままでは日本は危ない。長州藩が苦杯を喫した下関戦争において危機感を抱いた坂本龍馬の言葉だ。龍馬は見たことのない異国の地に夢を抱き、日本を変えようという大きな志を抱いた。土佐藩の武士階級の中でも低い下士に過ぎなかった龍馬だが、日本を大きく変える明治維新に影響を及ぼす偉大な人物となった▼最近、大河ドラマを見るたびに自分も幕末を生きた人々のあのような大きな志を持たなければと感じる。1を2や3に増やすのは簡単だが、0を1にすることは大変だ。何もない所から明治維新を起こした幕末の龍馬らの志の力には感銘を受ける▼春は出会いの別れの季節というように、新たなスタートをきった人が多いことだろう。特に新人生にとっては待ちに待った大学生活だ。大学は「学習」から「学問」をする場。「習う」ことから、「問う」ことを学ぶ。また、勉強だけが学問ではない。普段の生活一つ一つとっても問う力は試されることだろう▼大学に入学し早くも2年が経つ。入学したての頃の初心を忘れず、龍馬のような大きな志を持ち続けたいものだ、とふと思う。【松本尚也】

Tours Japan
http://www.tours-j.com/
合宿・ゼミ旅行など皆様の全ての旅行を応援します。
大阪市淀川区西中島4丁目2番8号 YS新大阪ビル7F(701・702号)
TEL:06-6101-0088

障がいのある学生の就活支援 WebSana（ウェブ・サーナ）
2011年卒業予定　18年の信頼　30,000名の実績
まずは サーナ2011 検索 を！

ダイビングショップ・スクール
J&M ダイバーズ
Tel: 078-802-7475
阪急王子公園駅から徒歩2分
JR灘駅から徒歩５分
世界共通ライセンスが1泊2日で取得できる！
ニュースネット割り引きあり！
「ニュースネットをみた」とお伝えください。
受講生限定 激安ツアーで沖縄に行こう！！
PADI s-8946
〒657-0837 神戸市灘区原田通１丁目２－５　シンプルライフ原田１F
http://www.kobe-diving-school.com/divingshop.htm

マスコミ・広告
興味があるならニュースネットへ

外務省後援
国連英検
国連英検は財団法人日本国際連合協会が国連普及活動の一環として実施している英語検定試験です。
試験出題トピックは国連の活動に沿って世界情勢、国際時事問題が含まれており、今まさに地球上で問われている問題を認識し、自分の考えや解決策を論理的に伝達する表現力が求められます。
▼2010年度第1回 試験日程▼
1次試験　6月6日(日)
2次試験　7月25日(日)
申込期間　4/1(木)～5/8(土)
第2回（秋期）試験は11/7です。
■お問い合せ
財団法人日本国際連合協会
国連英検事務局
TEL 03-3517-6490　FAX 03-3270-4735
http://www.kokureneiken.jp/
http://www.kokureneiken.jp/mobile/

就活に･･･この新聞。
朝日新聞
日本経済新聞
灘区在住の方に朗報！
QRコードからのお申し込みでプチ・サプライズあり！
info@asa-takaha.com
試読・購読のお申し込みは
ASA 神戸なだ
0120 - 084013
神戸市灘区土山町 1－13
※ お申し込みは、灘区在住の方に限ります
http://www.asa-takaha.com

いざ1部へ挑む 15年ぶりの舞台へ

春季関西学生ソフトボールリーグが4月11日に開幕する。昨秋、2部で優勝し15年ぶりの1部昇格を果たした神戸大は、初戦でいきなり強豪・同志社と激突。私大が居並ぶ大舞台での戦いに挑む。

主将（中央）を中心に意見を交わしながら練習を行っている（3月21日・発達科学部グラウンドで　撮影＝浅井淳平）

「目標はもちろん残留。私立ばっかの中でやっていくには、せこくでも勝つ戦いをしないと」。主将兼監督の柴田憲（保・4年）が話す通り、戦力、環境両面で不利な神戸大が、強豪私大の中で残留を勝ち取るには、正攻法では厳しい。四死球や振り逃げでもランナーを溜め、1点でも多く取って守りきる。神戸大が目指すのは「泥臭いソフトボール」だ。

チームの鍵を握るのはエース美馬（理・3年）。柴田憲をして「うちは投手頼みのチーム」と言わしめる右腕の出来が、勝負の行方を左右する。美馬自身も「練習試合よりも本番のほうが力が出る。頑張ります」と気合い十分だ。

ただ、3月13日の同志社との練習試合では、10点差以上の大差をつけられて完敗。美馬の甘く入った球を狙われ、内野陣の失策がさらにエースのリズムを狂わせた。「『このままじゃあかん』とみんなが認識した」と柴田憲。1部のレベルを肌で感じたことで、昇格で浮き足立ったチームが地に足をつけることができた。一週間後の大産大戦は接戦を制し、昨季1部5位で残留争いのライバルと目される相手にプレッシャーを与えた。

部員16人のうち、高校でソフトボール部に所属していたのが3人であるため、基本的な守備には課題を残す。2部を制したメンバーから、主力数人が就職活動を理由に退部したことによる戦力ダウンも否めない。それでも「やるしかない」（柴田憲）。本格的にソフトボールを指導できる監督がいないため、練習メニューなどはすべて柴田憲を中心に自分たちで考える。最大の課題である内野の守備には、試合で起こりうるさまざまな場面を想定した練習を組み、個人、そしてチームとしてのレベルアップを目指して取り組んでいる。「正直、まだまだこれから。でも楽しみではある」。柴田憲の言葉には、不安と期待が混じる。

【浅井淳平】

優秀部員団体 大園・山岳部員ら 功績たたえ表彰

平成21年度課外活動優秀団体・部員表彰式が3月17日、出光佐三記念六甲台講堂で行われた。様々な課外活動における功績をたたえ、2団体・9人が福田学長から表彰を受けた。

賞は「神戸大学学生表彰規定」にもとづき、課外活動において優秀な成績、功績を残した学生に対しておくられる。今年は、全国大会2連覇を果たしたフットサル部、15年ぶりの1部昇格を果たしたソフトボール部、在学中アメフト部で活躍し日本代表に選ばれた大園（発達）、昨年中国の未踏峰・KG-2を制した山岳部の近藤昂一郎（理学研究科）、石丸祥史（農・4年）などが選出された。

表彰を受け「すばらしい賞」と大園さん。小学3年生からの14年間、学生アメフト人生を支え続けてきた両親に「ありがとうと伝えたい」と笑顔で話した。近藤さんは「多くの人に助けを借りた。そういう人に感謝の気持ち」と未踏峰登頂が自力だけで達成したものでないことを強調し、感謝を述べた。

【坂上正人】

【上】福田学長（左）から賞状を受け取る大園（右）【下】山岳部の近藤（右）と石丸（左）（いずれも3月17日・出光佐三記念六甲台講堂で　撮影＝坂上正人）

SPORTS

「勝つしかない」

アメフト部主将 今季に懸ける思い

昨シーズン、2部降格の危機に直面した神戸大アメフト部レイバンズ。どうにか入れ替え戦には勝利し1部に残留したものの、昨年のメンバーから多くの主力が抜けた。日本代表にも選ばれたWR大園、守備の要DL小澤。そんな中、「僕たち4回生が頑張るのは当然。秋の公式戦でどれだけ戦えるかは、下回生がどれだけやれるかが重要となってくる」と話す新主将DL庭山（工・4年）。今シーズンに懸ける思いを聞いた。

「常に考え、今に懸ける」。自分の現状を把握して、フィールドでどれだけできるか。4年生の会議で決まった新チームのスローガンだ。他の代と比べると人数が少ない4年生。その分、団結力では他の代には負けない。「年末年始、嫌というほど新チームをどうしていくか4回生同士で話し合った」。

昨年も先発し活躍した庭山（中央・＃97）。今季も守備陣を引っ張る

現在、重点的に取り組んでいることは基礎の見直し。部員のほとんどは大学からアメフトを始めた選手ばかり。庭山自身も高校時代は野球部に所属していた。「経験が浅いものが多い。基礎ができてないと積み上がりはない」と庭山。

課題は経験不足。現在のメンバーのうち、昨年先発として常時試合に出場していた選手はわずか。また、大園のように個人で突出した選手がいるわけでもない。しかし、だからこそ先発の可能性が増える下回生が成長できるかが鍵となる。「この春、6月、7月までに大きく化ける可能性はあると思う」。昨年、1年生ながらも出場したDL白石（発達・2年）などにかかる期待は大きい。

また庭山ら4年生にとっては学生最後のシーズン。「勝つしかない。勝つしか、自分のこの4年間が返ってくることはない。負けたら何も残らない」と庭山は勝ちへのこだわりを見せる。

春のオープン戦は4月18日の阪大戦から。どれだけ多くの経験を積み一人ひとりの能力を高めていくことができるか。新生レイバンズの勝負のシーズンが始まる。

【松本尚也】

芦屋レガッタ 笹淵C-1制覇 神戸大、上位独占

第5回芦屋カヌーレガッタが3月7日、芦屋キャナルパークで開催され、男子カナディアンシングル1万メートルで笹渕美寛（工・3年）が49分36秒73で優勝した。同種目では西村英之（工・4年）、石津勇太（工・3年）もそれぞれ2位、3位に食い込み、上位を神戸大勢が独占した。男子カヤックシングル1万メートルに出場した川崎絢太郎（経済・4年）は45分18秒78で3位、女子カヤックペア5000メートルの置塩・後藤ペア（それぞれ発達・卒、発達・3年）は22分23秒73で3位だった。

▽K-11万メートル　川崎絢太郎　3位（45分18秒78）

▽C-11万メートル　笹渕美寛　1位（49分36秒73）、西村英之　2位（51分33秒47）、石津勇太　3位（51分51秒36）

▽WK-2　5000メートル　置塩・後藤ペア　3位（22分23秒73）

フィギュア女子 北山が二部制す

第9回関西学生フィギュアスケート競技大会が3月3日から5日まで、大阪府立臨界スポーツセンターで行われ、二部女子で北山翠（医・2年）が優勝した。二部男子では木曽田雄星（工・卒）の5位が最高位だった。

学生の皆様へ！

英語力が不可欠な時代です！学生の間にしっかり身につけましょう！

● TOEIC・英検 —— 就職活動に！国内大学院入試に！

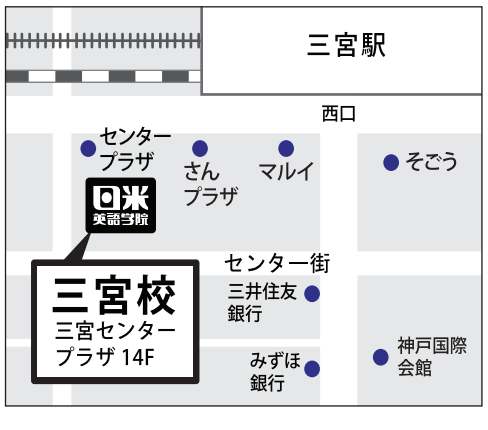
● TOEFL® iBT・TOEFL® ITP・GRE®・GMAT® —— 交換留学に！国内大学院・海外大学院入試に！

● 英会話・ビジネス英語 —— 就職活動に！実践力を身につける！自己啓発に！

神戸大学ニュースネットをご覧になった方だけのW特典 ① 受講料10%OFF ② レッスン1ヶ月分プレゼント

たくさんの神戸大学生・大学院生が通っています♪ぜひお気軽にお問い合わせください！　※2010年4月30日まで有効

信頼と実績で30年 ー日米英語学院設立30周年ー

日米英語学院 三宮校　無料体験レッスン・見学のご予約好評受付中！ 0120-447-218

http://www.nichibei-eigo.co.jp/　兵庫県神戸市中央区三宮町 1-9-1-1401-1 センタープラザ 14F